

デザイン部会
会長 内倉 清隆

令和4年度 福岡県工業技術センタークラブ第2回デザイン部会・見学会のご案内

寒冷の候 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さてデザイン部会では令和5年2月17日(金)に、第2回部会として①熊本城、および②(国研)森林総合研究所九州支所への見学会を行います。(詳しくは、別紙の「見学スケジュール」でご確認下さい)。

①熊本城では、2016年の震災による甚大な被害から復興途中である中、一昨年度末より一部で天守閣の一般公開が始まりました。復興工事に際しプロセスや工法、現状と今後に関して**非通常コース**を専門家による案内で見学を通し古来の工法を確認できればと思います。また、②森林総研九州支所では、近年木造建築現場で利用が拡大しているCLT(直交集成板)による「共同実験棟」を見学します。今回は、「建築、構造、部材」に関し、伝統技術と最新技術として捉え学べる貴重な機会かと思えます。お忙しい時期とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

なお、当日は久留米でご参加の皆様をお迎えし、その後貸切バスを利用して移動します。乗車地は、JR久留米駅周辺・西鉄久留米駅周辺・生物食品研究所(駐車場利用可)の3か所を予定しております。帰りも同様に降車地までお送りいたします。

参加申込は、2月9日(木)までに、下記の「参加申込票」にて事務局までFAXでお申込み下さい。もしくは必要事項をご記載いただけましたら、電子メールでのお申込みも可能です。

※参加定員は15名程度です。ご興味のある方はどなたでもご参加頂けます。なお、定員を超えるお申込みの場合は、参加人数の調整をお願いする場合がございます。

(本件の問い合わせ・申込先) デザイン部会事務局 担当:脇坂、本
TEL:0944-86-3259 FAX:0944-86-4744 E-Mail: mwakisak@fitc.pref.fukuoka.jp

■FAX:0944-86-4744 インテリア研究所 脇坂 宛

2023/2/17 第2回デザイン部会

参加申込票

申込期限:2月9日(木)

企業(団体)名			
参加代表者 (連絡担当の方)	氏名	乗車地(降車地)〈*1〉 <u>ご希望の場所を○で囲んで下さい</u>	
		JR久留米駅周辺 ・ 西鉄久留米駅周辺 ・ 生物食品研究所	
	TEL: ()	FAX: ()	
	E-Mail: @		
その他の参加者		JR久留米駅周辺 ・ 西鉄久留米駅周辺 ・ 生物食品研究所	
		JR久留米駅周辺 ・ 西鉄久留米駅周辺 ・ 生物食品研究所	

ご記入情報は、本事業に関するもの以外に使用しません。

〈*1〉乗車地(降車地)に関して

JR及び西鉄の久留米駅周辺の具体的な場所は、お申し込み後にご案内いたします(現在調整中)

第2回デザイン部会・見学スケジュール

■ 開催日時 ■ 令和5年2月17日(金) 8:30 ~ 16:30頃 ※乗車地(降車地)によって前後します

■ 集合場所・時間 ■

- JR 久留米駅周辺 8:30
- 西鉄久留米駅周辺 8:45
- 生物食品研究所 9:00 (駐車場をご利用いただけます・無料)

■ 見学スケジュール(予定) ■

生物食品研究所【出発】9:00

↓

①熊本城 10:30~12:00

(熊本県熊本市中央区本丸 1-1)

↓

食事休憩 12:00~12:50 (自由、各自でお食事をお願いします)

↓ (※13:00 出発)

②(国研)森林総合研究所九州支所 13:30~14:50

(熊本県熊本市中央区黒髪4丁目11番16号)

↓

生物食品研究所【帰着】16:30頃

→ その後、西鉄久留米、JR久留米と順に回ります。

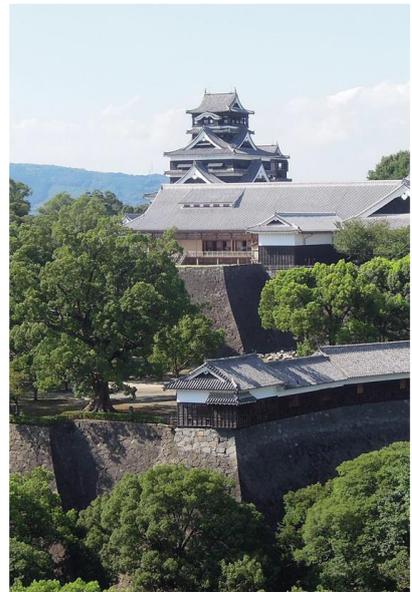
訪問先の詳細については次頁をご覧ください。

①熊本城

<https://castle.kumamoto-guide.jp/>

2016年4月、熊本地震により、熊本城は石垣の崩落や建築物の倒壊など甚大な被害を受けました。復旧工事が続くなか、令和元年に熊本城特別公開がスタートし、被害状況や復旧工事の様子を見学できるようになりました。

復旧工事期間中の今だからこそ見ることができる熊本城の姿があり、熊本城の「建築、構造等」関連の専門家に、通常の見学コースでは見られないヘルメットエリアを案内して頂きながら説明を受けます。



②(国究) 森林研究・整備機構 森林総合研究所 九州支所の見学

<https://www.ffpri.affrc.go.jp/kys/shishoshokai/shisetsu/jikkentou.html>

九州支所では、暖温帯の高度に人工林化された地域及び亜熱帯林の森林の機能を持続的に発揮させる管理手法の開発等に関する研究を行っています。

2016年4月に2度にわたる震度7の大きな地震に見舞われた際、九州支所においても被害は甚大で、共同実験棟を建て替えることになりましたが、新しい共同実験棟は CLT(直交集成板)をふんだんに使っており、研究用の施設としては国内初の CLT パネル工法による建築物となります。新規建材、新規工法による建築物を、研究所支所長様に説明を頂きながら見学を行います。



同支所 HP より